



YU-**INFORMATION**
2012 MARCH No.106

山口大学広報誌

学長から新入生へのメッセージ

キャンパスライフ

吉田キャンパス

小串キャンパス

常盤キャンパス

サークル紹介 - 大学公認サークル

公開講座 - 知的好奇心に応える公開講座

学生生活の支援体制 - 学生生活のための充実したサポート体制





YU-INFORMATION
2012 MARCH No.106



「志」つなぎ 伝える 二百年

山口大学は、長州藩士・上田鳳陽によって1815年に創設された私塾山口講堂を起源とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に、地域における高等教育および学問研究の中核たる新制大学として創設されました。来る2015年には、山口講堂創設から創基200周年を迎えます。山口大学は、地域に根差した大学として、さらなる充実と飛躍を期し、次なる100年をより有意義なものにするための記念事業を計画しています。



「志」つなぎ 伝える 二百年
創基200周年

山口大学

URL: <http://www.yamaguchi200.jp/>

テーマ

知の広場で共に。

新入生の皆さん、知の広場・山口大学へようこそ！

いよいよ夢と希望に満ちた学生生活が始まります。

大学とは、自ら目標を掲げ、主体的に学び、

「将来なりたい自分」をかたちにしていく場所です。

4年間、あるいは6年間で、じっくりと自分を見つめ直し、

新たな発見や出会い、体験によって視野を広げ、

それぞれの夢や目標に向かって前進してほしいと願っています。

YU-Information 3月号では、新入生へのメッセージと共に

本学のキャンパスや学生支援体制などをご紹介します。

CONTENTS

■特集 01

学長から新入生へのメッセージ

■キャンパスライフ 4

吉田キャンパス

小串キャンパス

常盤キャンパス

サークル紹介 - 大学公認サークル

公開講座 - 知的好奇心に応える公開講座

学生生活の支援体制 - 学生生活のための充実したサポート体制

■連載企画 12

考える就職活動

[第6回] 営業を仕事にすること

■年間企画 13

NEWS&TOPICS

こちら YU-PRSS！

YU INFORMATION

ワイユーインフォメーション
山口大学広報誌 第106号

山口大学総務部広報課

〒753-8511 山口県山口市吉田 1677-1

TEL 083-933-5007 FAX 083-933-5013

E-MAIL: sh011@yamaguchi-u.ac.jp

URL: <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

編集発行／山口大学広報委員会

西田博夫（副学長・総務企画担当）／木下武志（副学長補佐）／坪部英彦（人文学部）
石井由理（教育学部）／成富敬（経済学部）／白石清（理学部）／坂井田功（医学部）
清水和一（工学部）／阿座上弘行（農学部）／佐藤毅（大学教育機構）
近久博志（農学公進課・イノベーション推進機構）／小川原加久治（大学情報機構）
富平美波（エクステンションセンター長）／兵藤隆（アドミッションセンター長）
久保元伸（大学院技術経営研究科）／梅木哲也（総務部広報課）

企画・編集・撮影／セントラル広告

デザイン／ジーエータップ

印刷／大村印刷

学長から新入生への メッセージ

新しい出会いの春。

山口大学も夢と希望に燃える若々しい新入生を迎えます。
そこで、新入生への歓迎メッセージとともに、本学の教育理念や特徴、
さまざまな制度やサポート、社会において必要とされる人物像など、
丸本学長に語っていただきました。



国立大学法人 山口大学長
丸本 卓哉

Marumoto Takuya

1967年九州大学農学部農芸化学科卒業。農学博士。
山口大学助手、助教授、教授を経て2004年に理事・副学長、
2006年に学長に就任。2010年、再選。
趣味は武道(空手道7段・居合道4段)、映画鑑賞。

大学とは自分を見つけ 将来につなげる場所

新入生の皆さんは新しい生活に向けて大きな期待に胸を膨らませていることと思います。大学での4年間、あるいは6年間は、社会人となるために必要な力を身につける重要な期間です。将来のためにも有意義な大学生活を送ってもらいたいと思っています。

山口大学は、1815年に長州藩士・上田鳳陽によって設立された私塾・山口講堂を前身とし、1949年に新制大学として創設され、2015年には創基200周年を迎える歴史ある大学です。先人達の志を受け継ぎ、これまで世界で活躍する多くの人材を輩出してきました。

本学の教育理念は「発見し・はぐく

み・かたちにす 知の広場」です。「発見」するのは、何も新しい出来事や研究だけではありません。自分自身が持っている資質や適性、長所についても“再発見”をしてもらいたい。そして、数多くの体験を積み重ね、「なりたい自分」を見つけ、じっくりと育み、かたちにしていってほしいと思います。

たくさんの体験が 自分を見つけるヒントに

本学では、学生の体験活動を積極的に支援しています。その代表的なもの一つに「おもしろプロジェクト」があります。

これは、仲間や地域社会と連携して行う学生の自主的な活動に対して、大

学が資金援助する事業です。企画から予算の配分、活動の実践までのすべてを学生が行っているのが特徴です。集団や組織の中で一定の役割を担い、責任をもって行動することで、問題解決能力や行動力が養われたり、仲間と協力して実行することの楽しさや難しさを体感したりすることができます。

この取り組みは、全国的にも優れたプロジェクトとして評価され、2005年度には文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に選ばれました。毎年500万円の予算を充てて、10数件を採用しています。失敗も学びの一つです。どうか失敗を恐れずに、チャレンジしてみてください。若者らしいユニークな発想が出てくることを期待しています。



そのほかにも、サークルやボランティア活動、留学など、本学で体験できることはたくさんあります。学内・学外を問わず、時間の許す限りさまざまな経験を積んでほしいですね。

社会や企業で 求められる人物像

社会の雇用状況が厳しくなっている今日、学生や保護者の皆さんにとって卒業後の就職先は大きな関心事になっていると思います。グローバル化が進む現代においては、単に専門的な知識や技術を持っているだけでは不十分です。それに加えて、世界や地域の多様な人々とともに仕事をしていくために不可欠な人間的な総合力、社会的能力が必要です。

そのような環境の変化に対応していくために、本学では1年次からキャリア教育・就職支援に力を注いでいます。「大学人としてどうあるべきか」、「4年あるいは6年間で何を学ぶべきか」など、自分の将来について考える機会を積極的に設けています。

日々の過ごし方によって、将来は大きく変わってきます。自分の適性を見極めるためには、頭で考えるだけでなく、実際に体験してみることが大切です。そのために、企業の皆様を学内にお招きする「学内業界・企業研究会」やインター

ンシップも積極的に行っています。

入学時点で目標が定まっていない人も、社会に出て何をしたいのか、どう社会に貢献できるのかを常に模索しながら毎日を過ごすことで、将来の道はきっと開けてくるはずです。

大学生活における さまざまな制度やサポート

学生が安心かつ充実したキャンパスライフを送れるように、さまざまな制度やサポート体制も整えています。

特に成績が優秀な学生には、次学期の授業料を半額免除にする特待生制度があります。TOEICの高得点者には語学留学の渡航費用を支援する制度もあります。経済的な問題が生じた場合も奨学金制度があるので安心してください。

こうした勉学に関するサポートはもちろん、生活や健康、進路など、さまざまな悩みを聞いてくれる「学生生活なんでも相談窓口」も設置しています。保健管理センターや学生相談所などと連携を図り、専門的な助言を行っているので、どんどん活用してください。

大学生活の第一歩として 知っておいてほしいこと

豊かな自然に囲まれ、教育施設の整った山口大学は、勉学に励む環境と

しては日本でもトップクラスだと自負しています。この恵まれた環境の中で、勉学やサークル活動に励み、体力・知力ともにバランスのとれた生活を送ってください。

大学は自らが主体的に学ぶ場です。「教わる」という受け身の姿勢ではなく、自ら文献を読んだり、分からないことを先生に質問したり、1年次のうちから自らが主体的に学ぶ習慣をしっかりと身につけてほしいと思います。

勉強はもちろんのことですが、出会いも大切にしてほしいと思います。大学には、バックボーンの異なる多くの仲間がいます。そのため、同じ物事を見ても、考えが異なることがあります。それぞれの違いを深く理解し、認めあうことで、自然に広い視野が養われていきます。多様な出会いは、学生生活を充実させるだけでなく、将来の可能性も大きく広げてくれることでしょう。

また、大学生として第一歩を踏み出したこと、親や周囲に感謝する心は、いつまでも忘れないでほしいと思います。山口県には吉田松陰や長州ファイブのように、時代を動かした先人達がいます。皆さんも、そのチャレンジ精神を見習って、目の前にあるチャンスを逃さずあらゆることに果敢にチャレンジしてください。そして、さまざまな体験の中から、自分と社会の接点を見出し、将来へとつなげていってほしいと思います。

■ 広報学生スタッフの感想



人文学部 人文社会学科 2年 溝口 明音

山口大学の理念である、「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」の「発見する」とは「自分を発見すること」だという言葉が非常に印象に残りました。また、私は今まで漠然と大学生活を過ごしていましたが、日々貪欲に学び、様々な人とふれあい、様々なこと

を経験することで、自分を発見し、自分の将来と向き合わなければいけないと感じました。これから入学してくる新入生の方には、是非、入学時から「自分の将来に向けての目標が何であるのか」を考え、大学生活の中で「発見」してほしいと思います。

吉田 龍志

Yoshida Tatsushi
経済学部経営学科
3年

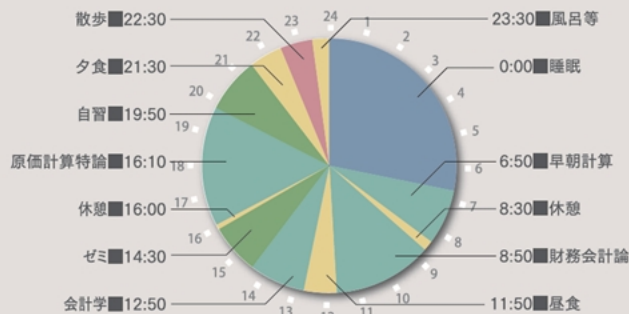


仲間といっしょに（本人は中央）

可能性は無限大、 充実した4年間を過ごそう。

私は、会計士になるために山口大学を選び、進学し、3年で公認会計士試験に合格することができました。大学に進学するには、何かしら目標、やりたい職業があるはずだと思います。または、大学で見つけないと思ってるはずです。早いうちに夢、目標を見つけないと、4年間があっという間に過ぎ、やりたかったことが達成できないかもしれません。

国立大学に進学できることはすごいことだと思います。それだけできるのなら、可能性は無限大だと思います。なので、大学合格をゴールとは思わず、大学でやりたいことを一つでも良いので、つけて、充実した4年間を過ごすことができます。



●スケジュールの立て方

- ・資格取得のために勉強していたので、平日は一日中勉強していた。
 - ・スケジュールの立て方としては毎週日曜日から月曜日に一週間のノルマを立て、その際土曜日は軽めに、日曜日は完全にOFFにする。
 - ・ノルマを達成できなければ、土日勉強するが、早くできれば、自由時間に回す。
- というようなスケジュールの立て方をしていた。

●大学生活で気をつけていること

・友達づきあい

人がとても多いので、遊びの誘いがとても多い。しかし、遊んでばかりだと、大学に来た目的を見失う可能性がある。でも友達には本当に大切にしたい方がいいので、適度に遊ぶという事を心がけている。

・お金の管理

通帳を親に預けている。一人暮らしだと、自由に使えるお金が多くなると思う。そこで親に通帳を預けることで、収支が伝わり、おかしかったら親も子に確認できるため、そのようにしている。

●山口大学のいいところ

・環境がいい

いい意味で田舎であり、邪魔するものが少ない。また、先生や、学務の人の対応が丁寧で、とてもいい。

- ・専門性が高く、オリジナルな活動を支援
資格取得専門のコースがあったり、専門性が高い学校であり、公務員試験対策も積極的に行っている。また、“おもプロ”など、オリジナルな活動を支援する体制が整っている。

・生活費が高くない







眞崎 達也

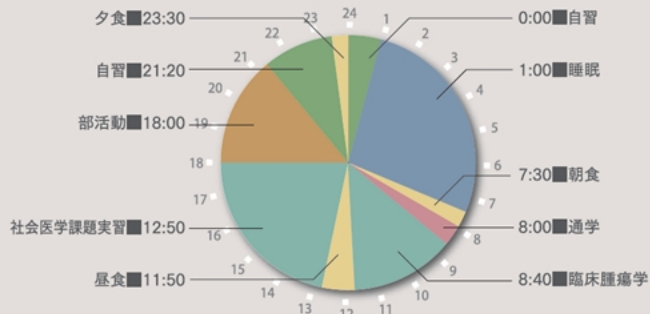
Masaki Tatsuya
医学部医学科
3年

専門的な授業や部活動で 充実した毎日を送っています。

1年生の共通教育を終え、吉田キャンパスから小串キャンパスへ移動して専門的に医学を学び始めて2年が経過としています。小串キャンパスに移動して間もない2年生の4月は漠然と専門教育が始まることを感じていましたが、医学的知識を学ぶにつれて、医師になるまでに膨大な量の知識を知る必要があると感じ、医学の奥深さに興味を持って学問に励んでいます。

吉田キャンパスから小串キャンパスに移動して変化を感じる点が多くありますが、特に変化を感じるのが、医療が身近にあると感じる点です。キャンパス内には附属病院や、保健学科棟に隣接するドクターヘリなど、医療施設が多くあります。昨年から運用開始されたドクターヘリが頻繁に離着陸する様子を見ると山口大学医学部附属病院が地域医療の中枢を担っていることを強く感じます。

授業に関しては、1年生では医学的なことに関する講義はあまりなく共通教育が主体でしたが、2年生からは専門教育のみの講義です。実習も多く、2年生の前期には解剖実習があり、医学生であることを改めて実感しました。また、2年生から3年生の前期にかけてはユニットごとに分かれた授業や実習を行



●ある一日の行動記録

OBの先生に誘っていただいてインドアのテニスコートで練習。論文提出やテストが近いので、図書館で勉強。

●大学生活で気をつけていること

実家生だが友人と食事に行ったりすることも多く栄養が偏ることもあるので、なるべく食生活が乱れないようにしている。

●新入生に一言

部活動・サークルに所属すると勉強との両立は結構大変だが、大変さ以上に部活動から得られるものがあり、何らかの団体に所属すべきだと思います。

う基盤系医学を学んだのですが、テストはまとめて期末にあるのではなく、ユニットごとにテストがあるため、週末になるとテスト勉強のために図書館には多くの学生がいます。3年生の後期からは、約6カ月にわたり山口大学を含めた国内外の研究室に所属して、各学生がそれぞれテーマを決定し、研究、論文作成を行う自己開発コースがありました。講義室で講義を聞くのとは違い、実際に自分で行動し、考えることでより客観的かつ多面的に物事を考えることができましたし、研究をすることで臨床だけではなく医学の一面を知ることができました。また、1月からは展開系医学といって、より臨床的な分野に関することを学んでおり、5年生からの病院実習

に向けて多くの知識を学んでいる最中です。

2年生以降の専門教育では同じ学科の同級生とともに授業を受けるため、基本的には他学科、他回生との交流はありません。そのため部活動などを通じて先輩や後輩、保健学科といった普段共通した授業などがない人たちと新たな人間関係を築いています。私はソフトテニス部に所属していますが、出場する大会は医歯薬学部生のみが参加する大会が多く、対外試合を通じて他大学の学生とも交流しています。

このように、医学部は他学部とは地理的に離れた環境ですが、専門的な授業や部活動を行う中で充実した毎日を送っています。

Campus life

キャンパスライフ Tokiwa

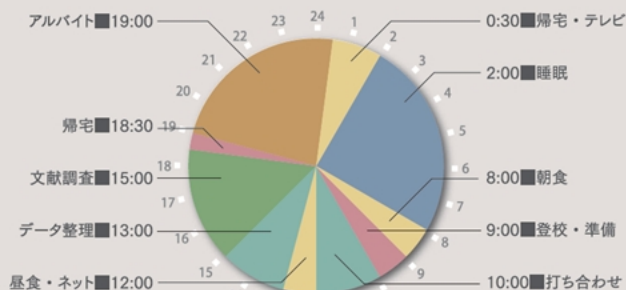
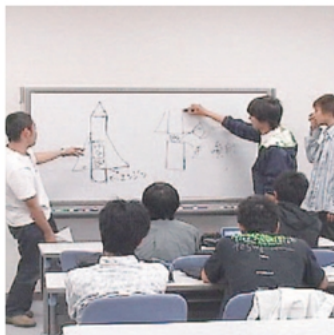


長曽我部 まどか

Chosokabe Madoka

理工学研究科 社会建設工学専攻
2年

一生懸命にやっていると
周りの人が助けてくれます。



●ある一日の行動記録

修士2年時の最も忙しかった頃の行動記録です。朝から打ち合わせなどがあると事前準備が大変でした。午後は基本的に研究作業になります。

●大学生活で気をつけていること

研究室に配属される頃は講義がほとんどありません。よって不規則な生活になります。できるだけ朝に起床し朝食を取るようにしました。「〇〇を食べると自分は元気になる」というような食べ物を決めて体調管理をしていました。また、毎日ネットやテレビでニュースを見るようにしています。更に、忙しい時期には作業に優先順位をつけ、その日のうちにできるものはなるべく早く終わらせるように心掛けました。これはあくまで理想としていたことなので、達成度は・・・です。

●新入生に一言

私は経済的に困難な時期がありましたが、大学の制度や奨学金の助けもあり大学院を修了することができました。アルバイトと研究生生活の両立で辛い時期もありました。しかし、一生懸命何かをやり遂げようとすると必ず周りの人が手を差し伸べてくれます。



サークル紹介-大学公認サークル

山口大学には大学公認サークルとして、体育会の36サークル、文化会の16サークル、計52サークルがあります(平成24年1月1日現在)。サークル活動を通じて、多くの仲間と苦楽を共にして、良い思い出をつくり、大学生活を謳歌してみませんか。



体育会

合気道部	サッカー部	バスケットボール部(男子・女子)
アイスホッケー部	山岳部	バドミントン部
アーチェリー部	自動車部	バレーボール部(男子・女子)
アメリカンフットボール部	柔道部	ハンドボール部
空手道部	準硬式野球部	ボート部
器械体操部	少林寺拳法部	ヨット部
弓道部	水泳部	ラグビー部
剣道部	スキー部	男子ラクロス部
硬式庭球部	ソフトテニス部	陸上競技部
硬式野球部	卓球部	ワンダーフォーゲル部
ゴルフ部	軟式野球部	応援団部
サイクリング部	馬術部	チアリーディング部

文化会

(音楽系)…音楽活動を主体としたサークル

管弦楽団	吹奏楽部	マンドリンクラブ
混声合唱団	邦楽部	

(社会系)…研究活動を主体としたサークル

E.S.S(English Speaking Society)	将棋部	ユースホステルクラブ
考古学部	洞穴研究会	

(表現系)…表現活動を主体としたサークル

映画倶楽部	茶道部	美術部
演劇部	写真部	文芸部

公開講座-知的好奇心に応える公開講座

「学びたい」という気持ちを持っているのは学生だけではなくありません。そこで、本学では、地域貢献活動の一環として、一般市民を対象とした公開講座を開講しています。見聞を広げる場、さらに多くの人との出会いの場となることを期待しています。



平成24年度 公開講座(全22講座)

講座番号	講座名	開講期間	時間帯	受講料	定員
1	歩いて、学んで、理解する。カタログにない秋吉台	4/21～4/22	10:00～17:00 9:00～13:00	5,000	30
2	今日から始めるグリーンライフ講座	4/27,6/22,8/17,10/19,11/16	10:00～15:00	7,000	30
3	日本語教師養成講座	5/12～6/9(毎週土曜日 計5回)	9:00～12:00	6,000	30
4	やまぐちサタデー・カレッジ2012 ことばは変わる	6/2～6/23(毎週土曜日 計4回)	13:30～15:00	4,200	30
5	老化を知る	6/5～7/10(毎週火曜日 計6回)	18:00～19:00	4,200	50
6	小麦栽培から始めるパンづくり	6/6,8/22,11/7	10:00～15:00	5,400	30
7	時間学への招待	6/23～7/14(毎週土曜日 計4回)	13:30～15:00	4,200	30
8	プロの技術で挑む小麦栽培から始める地産地消のパンづくり	6/27	10:00～15:00	4,000	30
9	日本語教育能力検定試験対策講座－基礎基本コース－	6/27～8/29 (毎週水曜日 計9回) 8/15を除く	13:30～16:40	8,400	30
10	大学論－世界の大学改革の動向と日本の大学の現状－	7/7～7/28(毎週土曜日 計4回)	13:00～15:00	4,600	20
11	サマーサイエンススクール 学び直す高校の微分積分・物理	7/21～7/22	13:00～15:40	4,000	20
12-1	木工入門①	①8/3～8/5	8:30～13:00	5,400	10
12-2	木工入門②	②8/24～8/26	8:30～13:00	5,400	10
13	国境を超えた地域づくり～グローバルな絆がもたらすもの～	8/7	14:00～17:00	4,000	20
14	病気の予防・日常の健康管理に役立つミニ知識	8/25～9/8(毎週土曜日 計3回)	10:00～12:00	4,200	30
15	女性のための健康応援講座～こころとからだをほぐしましょう～	9/1	10:00～13:00	4,000	20
16	香りを科学する	9/1～9/22(毎週土曜日 計4回)	13:00～15:00	4,600	30
17	日本語教育能力検定試験対策講座－直前対策コース－	9/5～10/31(毎週水曜日 計9回)	13:30～16:40	8,400	30
18	コミュニケーション能力養成講座	9/8	13:00～16:00	4,000	30
19	知ろう!女性のがん	9/8	13:30～16:00	4,000	30
20	俵山を歩いて暮らしの伝承を学ぶ	10/6～10/7	13:00～16:00 9:00～12:00	4,200	30
21	やまぐちサタデー・カレッジ2012 古代(秦漢)中国人の一日	10/6～10/27(毎週土曜日 計4回)	13:30～15:00	4,200	30
22	山口県の食材を活かした高血圧予防・改善のための食事療法	11/10	10:00～13:40	4,000	30

申込は全てインターネットで受け付けています。詳しくは山口大学エクステンションセンターのホームページをご覧ください。 <http://www.ext.yamaguchi-u.ac.jp/>

学生生活の支援体制-学生生活のための充実したサポート体制

学生が安心かつ充実したキャンパスライフを送ることができるように、さまざまな学生支援施設や制度を整えています。大学生活の中で悩みやトラブルなどが生じたときは、これらを有効に活用して、楽しいキャンパスライフを送ってください。

■授業料免除制度

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者に関して、本人の申請に基づき選考の上、前期及び後期の全額または半額を免除する制度です。

例年、この制度の説明会を後期分は7月、前期分は1月に実施しますので、申請希望者はその説明会で配布する申請書に所要事項を記入し、担当係に提出してください。

なお、上記に該当しない者でも、学費負担者が死亡または風水害などで災害を受け、授業料の納付が著しく困難と認められる場合には、申請に基づき、授業料の納付を免除することがあります。

■特待生制度

在学中の学業成績が特に優れ、かつ、人物優秀であると認められる学生に関して、前期・後期ごとに選考を行い、各期分の授業料を半額免除する制度です。

1年生については、後期から実施されますが、努力次第で継続して免除対象者となる可能性もあり、学生にとっては大学生活で勉学を行う際に、大変励みとなる制度です。

なお、免除額などについては、在学中に制度が変更となる可能性もありますので、各学部や学生支援部の掲示板をよく見て注意するようにしてください。

■奨学金制度

奨学金制度は、人物・学業成績ともに優れ、経済的な理由で修学が困難な学生に対して学費を助成する制度で、日本学生支援機構のものが一般的ですが、その他にも地方公共団体や民間育英事業団体の奨学金制度があります。

ここでは、最も一般的な日本学生支援機構の奨学金制度の概要を主に紹介します。

種類	区分	貸与月額		備考
		自宅通学	自宅外通学	
第一種(無利息)		30,000円、45,000円	30,000円、51,000円	
第二種(利息付)		30,000円、50,000円、80,000円、100,000円 120,000円の5種類から選択		卒業後、年3%を上限とする 利息付

なお、詳細は日本学生支援機構のホームページ(<http://www.jasso.go.jp/>)を御覧ください。

その他の奨学金として、地方公共団体、民間団体などの奨学金があり、主なものは次のとおりです。

〔地方公共団体等奨学金〕…山口県ひとづくり財団、長崎県育英会、宮崎県育英資金

〔民間団体奨学金〕…日揮・実吉給与奨学金、交通遺児育英会、あしなが育英会

■留学制度(海外留学)

本学では、大学間交流協定を12ヶ国・43大学等(2012.3.6現在)、部局間交流協定を16ヶ国・45大学等(2012.3.6現在)と締結しています。この交流協定に基づき、協定校に1年間留学する派遣留学では、休学の必要はなく、外国の大学で履修した授業科目は、所属学部が認める範囲内で本学で履修したものとして単位認定されます。

交換留学の条件に合えば、原則として留学先大学への授業料等は免除されますが、留学期間中は本学に授業料を払うことになります。奨学金については、留学生交流支援制度(短期派遣)や財団などによる奨学金等がありますので、詳しい内容は、留学生支援室(学生支援課留学生交流係)に問い合わせしてく

ださい。(TEL:083-933-5982)

なお、上記の交換留学以外に、海外短期語学研修など、国際感覚を身につける様々な体験を行うことができる場を提供しています。





■保健管理センター

学生の健康の保持増進を図るため、保健管理センターを設けています。同センターは、健康上の相談や健康診断を通じ、病気の予防などに努め、より良い学生生活を送れるように援助をしています。具体的には次のようなときに利用できます。



1. ケガや体調が悪いとき
2. 身体や心の健康のことで心配なとき
3. 健康診断証明書が必要なとき
4. 健康などに関する知識を得たいとき
5. 血圧・視力・体重などをチェックしたいとき

なお、保健管理センターの利用申込みは、直接窓口申し出てください。利用は無料で、保険証の必要もありません。

■学生相談所

大学生活を送る上で、気になること、心配なこと、勉学上の問題、対人関係、進路のことなどで悩みを抱えることもあるかと思いますが、そのようなときのために、学生相談所では、学生がよりよい大学生活を送っていくための支援を行っています。



相談にはカウンセラー（臨床心理士）が応じ、心理学の立場から支援を行います。

なお、個人のプライバシーや相談内容は厳守されますので、どのような内容でも、遠慮なく安心して相談をしてください。

「こんなことぐらいで相談していいの？」などと思わず、遠慮なく相談をしてください。

■学生生活なんでも相談窓口

大学生活を送る上で、様々な問題に直面し、一人で思い悩んでしまうこともあるかもしれません。「学生生活なんでも相談窓口」には、皆さんの相談や支援のための体制を幅広く理解した職員を配置し、皆さんがより豊かな大学生活を送ることができるよう、きめ細やかなサービスを行っています。

皆さんからの相談内容については、秘密を厳守し、本人の不利になることは一切ありません。

どんな小さなことでも相談に応じますので、「学生生活なんでも相談窓口」を気軽に訪ねてください。

〔相談内容例〕

経済的問題に関すること、課外活動に関すること、大学に對しての要望や意見など

■就職支援室

学生一人ひとりの就職活動を支援するために、吉田キャンパスの共通教育棟1階に「就職支援室」を設け、経験豊富な専任教員と就職アドバイザーを配置しています。個別就職相談はもちろんのこと、面接の練習、エントリーシートの添削も行っています。



また、就職に関する各種情報提供をはじめ、学内業界・企業研究会の企画と実施、就職情報満載の学内メールマガジンの配信なども行っています。

長引く不況の影響で、大学生の就職内定率は年々悪化していますが、こうした厳しい状況の中で、本学では、企業が求める人材を輩出するために就職支援を強化しています。

■キャリア教育科目

将来を見据えて大学生活を有意義に過ごすための考え方と方法論を学ぶ「キャリアデザイン」、働くための基礎知識を得る「キャリアと就職」、働く上でコミュニケーションの大切さを学ぶ「キャリア形成とコミュニケーション」などのキャリアに関連した共通教育科目を開講しています。



自分の問題としてキャリアや就職を捉えてもらうために、各種支援活動や個別相談などの正課外の活動とも連携しています。

本学では、このように授業（キャリア教育科目）を通じて、キャリア形成を支援しています。

■おもしろプロジェクト

おもしろプロジェクトとは、「学生の自主的活動への資金支援制度」です。学生の皆さんが、発見し、はぐくんだ「夢」を「かたち」にするために資金を支援します。



このプロジェクトの特徴として、企画内容について大きな制限がないことがあげられます。学術に特化した研究テーマではなく、まさにふとした「思いつき」を形にしようと努力してもらいたいということがあるからです。さらに、最高支援額が50万円という非常に高額な支援制度であり、経済的制限を感じることはほとんどありません。

学生の力だけで実施するこのプロジェクトは、大学が学生の自主的活動を信頼し、創造性豊かな学生をはぐくむためのものです。

営業を仕事にすること

センパイたちはどんな仕事に就いているの？
 在学中はどのように過ごしていたの？
 そこで、「考える就職活動」第6回目は、
 山口大学を卒業後、住宅設備機器・建材の総合メーカーの
 営業として活躍されている高松利行さんに
 現在のお仕事や在学中の思い出など
 についてお話を伺いました。

Q1. 入社のきっかけは？

A.もともと建築業界に興味があったので、本や就職情報誌などで自分なりに情報を収集してから、3年次の後半から企業訪問を開始しました。入社を決めた一番の理由は、人事担当者の人柄や対応を通して、好印象を持ったことです。実際にそこで働いている方々からいろいろな話を聞くことで、自分に合った雰囲気の会社を見つけることができました。

Q2.実際に入社されてみていかがでしたか？

A.まず、土木資材を扱う部署に配属されました。主要取引先が官公庁という、新人にとってはかなりハードルが高いところでした。最初のうちはなかなか相手にしてもらえませんでした。一つひとつお客様の要望に真摯に対応していくことで、少しずつ信頼を勝ち取ることができました。苦労した分、初めてご契約いただいたときのうれしさは、今でもよく覚えています。

Q3.営業の面白さはどんなところにありますか？

A.社内外問わず多くの人の関わりの中で、あらゆる知識や情報をもとにストーリーを描いていく…そのプロセスにあると感じています。それから、顧客や施工業者など、あらゆる職種の人々との出会いを通じて、たくさんの刺激を受けられるという魅力もあります。また、目に見える形で実績を確認できることも、この仕事の醍醐味のひとつだと思います。



高松 利行 Takamatsu Toshiyuki

福岡県遠賀郡岡垣町出身、山口市在住。山口大学経済学部卒。
 平成5年4月、株式会社INAX(昨年4月に統合、現LIXIL(リクシル))に入社。
 東京、名古屋を経て、現在は中国支社山口支店 住設ルート営業所 住宅市場課に勤務。

Q4.在学中の経験がどのように生かされていますか？

A.大学時代は飲食業を中心にたくさんのアルバイトを経験しました。ここでは、相手の話をよく聞く大切さを学びました。人から話しかけられると、相手がこれから何を話そうとしているのかをつい先回りして勝手に想像して、理解したような気になってしまっていることがよくあります。しかし、最後まで相手の話に耳を傾けなければ、情報を正しく得ることはできません。これは、仕事をする上でもとても重要なポイントです。私たちが扱っているタイルは、表面を保護する機能素材としてだけではなく、仕上げ材としての意匠性も要求されます。そのため、ちょっとした色の違いが大きなクレームにつながることもあります。日頃からお客様の話をしっかりと聞き、確認作業を怠らないように気をつけています。

Q5.最後に、在学生へメッセージをお願いします。

A.LIXIL(リクシル)の経営理念のなかに「変化し挑戦する」という一文があります。これは、常に現状に満足せず、変化を求め、新しいことにチャレンジするという意味です。そのためには、何事にもあきらめずに前向きに取り組む姿勢が必要です。学生時代にできることはたくさんあります。積極的に挑戦して自身のキャリアにつなげていってください。

就職関連情報

■インターンシップ

インターンシップとは、学生が企業や自治体・団体などで、自分の将来の職業選択に生かすために就業体験をすることです。企業説明会やパンフレットでの紹介だけでは分からない、企業や自治体などの実情を知るためには就職活動前を含め、在学時の早い段階からインターンシップを体験することにより、さらに理解を深めることが可能となります。本学は、山口県インターンシップ推進協議会(HP:<http://www.y-internship.com/>)と連携し、インターンシップのマッチングを行っています。詳細は、就職支援室(共通教育棟1階)にお問い合わせください。
 ※就職支援室…TEL:083-933-5145



■キャリア学習・就職活動支援コーナー

学生の主体的な学びを応援するために、キャリア形成や就職活動などに関連した書籍を多数配架しています。就職支援室には、「働く」を研究する書籍コーナーなどを、総合図書館・工学部図書館には「キャリア学習・就職活動支援コーナー」を設置していますので、働くことや自分自身を理解するため、そして就職活動の情報拠点として、皆さん是非活用してください。

“Yamaguchi University Public Relations Student Staff” 略してYU-PRSS(ユープラス)。「山大学生のあなた(YOU)にも、そうではないあなた(YOU)にも“プラス”になる情報を届けたい」との想いを込めて名付けられました。現在13人のメンバーにて、山口大学の広報活動を行っています。

NEWS&TOPICS

私たち学生スタッフが、山大の最新の話題やニュースをお届けします!

01

『創基200周年』情報

「創基200周年記念事業」の機運をより一層高めるために「卓上旗」と「ピンバッジ」を作成!

2012年(平成24年)となり、山口大学にとって記念すべき年であるとともに、今後のさらなる発展のひとつの契機となる「2015年」の『創基200周年』まで残り3年となりました。

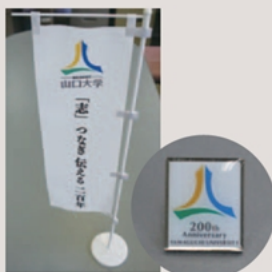
今後、より様々な事業を展開していく予定ですが、創基200周年の機運を盛り上げていくため、その記念すべき年をより幅広く周知するという観点から、創基200周年記念の「卓上旗」及び「ピンバッジ」を作成し、卓上旗は学内各部署に配布し、様々な場所に置くことにより学内外への周知を促進し、ピンバッジは各職員が付けることにより、来客などがあった際に周知を行うことができることや出張などの際に各教職員が広告塔となり、『創基200周年』の周知が日々広範囲にできているものと推測されます。

また、平成24年3月末日を期限とし、山口大学の“今”を本学にゆかりのある方に伝えていくことを趣旨として、「第1回フォトコンテスト」を開催し、多くの方からの応募をいただきました。どの作品も本当に素晴らしいものであり、『創基200周年』に向けての機運の高まりを感じるとともに、応募作品は山口大学にとって、後生に本学の歴史を伝えるための大変貴重な財

産となるものばかりです。

ますますの高まりを見せる『創基200周年』の機運を本学の職員はもちろん、OB・OGなどにも機会があるごとに周知し、記念事業の成功につなげるように、現在の堅調な流れを止めることなく、「2015年」に向けて、教職員や学生など、山口大学関係者が一致団結して、盛り上げていきましょう! なお、『創基200周年』のWebページ上で、本学の歴史など様々な情報を掲載していますので、是非御覧いただけますよう、よろしくお願いします。(創基200周年のWebページアドレスは以下のとおりです。)

創基200周年HP:
<http://www.yamaguchi200.jp/>



02

山口地域と山口大学との交流会を開催しました!

2月7日(火)、山口市内で「山口地域と山口大学の交流会」を開催しました。

この交流会は、平成18年度から、地域の企業等との連携強化を図るため、山口県内を7地域に分けて開催しているもので、このたびの交流会は2巡目の5地域目となります。交流会では、学長から、地域の基幹総合大学として地域に開かれた大学を目指していることなどの挨拶があり、地域関係者の代表として山口商工会議所副会頭から「本交流会は地元の経済界にとって意義深いものであり、これを通じて産学公の一層の連携協力を図りたい」との歓迎の挨拶がありました。その後、大学から山口大学の諸活動の状況などの説明を行い、グループ懇談では、地域と大学の連携、大学の在り方などに対して数々の貴重な意見が寄せられ、熱心な議論が交わられるなど有意義な機会となりました。



03

特別支援学校の生徒制作のテーブル・ベンチ、蓮の実工芸品の納品引き渡し式が行われました!

2月29日(水)、正門近くの菖蒲池がある憩いの場に、本学特別支援学校の生徒が制作したテーブル・ベンチが本学に納品されました。

制作を行った生徒の代表者からの挨拶があり、制作に携わった生徒のさまざまな努力が結集して完成したテーブル・ベンチであることが伝わりました。納品されたテーブル・ベンチは、これまでの作品をさらに上回る立派なものであり、憩いの場の雰囲気があります。また、大学内に咲いた蓮の実を利用して制作した作品がベンチを彩り、納品されたテーブル・ベンチが華やかなものとなりました。引き渡し式には、多くの教職員が出席し、特別支援学校の生徒にとって、達成感に満ちた引き渡し式となり、今後の作品の制作に向けて意欲が高揚するものとなりました。



【YU-PRSS(ユープラス)とは?】「キャンパスライフ」、「ワイユーインフォメーション」の制作に携わる山口大学広報学生スタッフです

YU-PRSSメンバー

林田 久恵/原内 由佳/棚原 祐太/国本 亮/久保田 法彦/入江 貴博/佐々木 裕美/黒江 那津子/長岡 奈緒子/前田 梨乃/吉岡 優一/河島 あかね/溝口 明香

■追加メンバー募集中!

主な仕事は、山口大学のホームページ内にて毎週更新されている「キャンパスライフ」ページの作成と山口大学広報誌「ワイユーインフォメーション」の製作補助です。取材・撮影・記事執筆といった、企画・編集業務に興味のある方、一緒に活動してみませんか? 詳しくは下記アドレスまでメールしてください。

■感想、取材依頼などお気軽にメールしてください!

今号についての感想や、今後こういった特集はどうだろうといったアイデア、こんな人取材して欲しいといったご要望も受け付けております。また、「私たち取材に欲しい」といったサークルやグループも大歓迎です! たくさんのメールをお待ちしています。

E-MAIL: campus@yamaguchi-u.ac.jp キャンパスライフURL: http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus_life%20_web/

「志」つなぎ 伝える
二百年



創基 200周年
山口大学

YU-INFORMATION
2012 MARCH No.106

山口大学広報誌